

## 日本慢性期医療協会 コロナ禍の取組み

第10回認知症医療介護推進会議  
日本慢性期医療協会 会長 武久洋三

## 1. ポストコロナ患者等の受け入れに関するアンケート

実施：令和3年（2021年）2月

回答：日本慢性期医療協会会員でポストコロナ患者に対応した64病院、患者数460人

平均年齢	81.1 歳
最高年齢	101.0 歳
最低年齢	40.0 歳

・慢性期病院にて受け入れた  
ポストコロナ患者のコロナ発症時の  
平均年齢は81.1歳（n=460人）

ADLの比較 (%)	発症前 n=460人	入院時 n=415人	退院時 n=157人 ※継続入院中を除く
1.自立	29.1	7.7	40.1
2.一部介助	40.0	45.3	36.3
3.全介助	30.9	47.0	23.6
計	100.0%	100.0%	100.0%

入院時：半数近くが全介助まで状態が落ちている

退院時：新型コロナ発症前よりも改善傾向がみられる

新型コロナ発症前の 居所とポストコロナ 後の転帰 (%)	発症前の 居所 n=460人	コロナ後の 転帰 n=353人
1.自宅	28.0	24.9
2.自院	37.8	
3.他院	13.5	5.9
4.介護保険施設	11.7	3.4
5.居住系施設	7.8	6.2
6.その他	0.2	1.7
7.不明	0.9	0.3
8.継続入院中		50.4
9.死亡		7.1
計	100.0%	100.0%

\* 調査時点では  
継続入院中が  
約半数\* 退院された方の  
半数は在宅復帰  
でき、状態が改善  
されたと思われる

## 2. 上記1の64病院のうち46病院の

令和3年7月1ヶ月間

コロナ患者 &amp; ポストコロナ患者の受入れ状況等

▶ コロナ陽性患者の受入れは、46病院のうち4病院  
計22名（軽症、中等症）

▶ ポストコロナ患者の受入れは、46病院のうち15病院  
計37名（入院時は一部介助が51.4%、全介助が45.9%）

▶ 新型コロナ発症前の2019年とこの1年を比較すると、  
入院患者数が減少した病院は26.7%であるが、  
外来患者数が減少した病院は64.4%にのぼる。

## 3. 新型コロナウイルス感染症対策オンライン研修

～介護保険施設での感染を最小限に抑えるために～

介護保険施設には、他の施設での対応が難しい高齢の認知症の方々が多く入所され、もし施設内で感染すれば重症化しやすく、クラスターになる可能性が非常に高いと思われます。しかし、介護保険施設では医師や看護師などの配置は少なく、感染症への専門的な対応が難しいことから、介護職員が中心となり入所者や職員を守るための具体的な対策についての研修を実施致しました。

開催日 2021年3月31日（水） 13:00～16:00

内容

## ①新型コロナウイルス感染症対策の具体例

- ・感染経路・典型的な経過、症状・クラスターが起こる環境
- ・感染を広げない仕組みの構築・リスクに対応できる体制 など

## ②新型コロナウイルス感染症患者の症例

- ・コロナ感染仮設病棟で34例に対応した現場から、  
軽快退院25例、重症化転院9例にどのような治療を行ったか
- ・重症化症例に対応した看護師の感染の実例を紹介

## ③介護老人保健施設でのクラスター事例

- 認知症専門棟を中心に感染が拡大した老人保健施設の対応を紹介
- ・ゾーニング・医療物資の確保・風評被害・対策本部の設置
- ・問題点と課題 など